

2021年度 F2フェローシップシラバス

目次

家庭医療パート	2
Inner Consultation	2
家庭医療における多疾患合併と複雑系	3
家庭医としての自己分析	4
家庭医療学の歴史・社会的背景	5
経営パート	6
問題解決思考	6
システム理論	7
経営戦略マーケティング論（応用コース）	8
プロジェクトワーク報告	9
人材マネジメント（応用コース）	10
組織論（応用コース）	11
ケーススタディ（応用コース）	12
マネジャーことはじめ 事例検討	13
会計学（応用コース）	14
教育パート	15
医学教育とエビデンス -Best Evidence Medical Education-（応用コース）	15
教育事例検討（基礎と応用で内容に違いあり）	17
生涯教育（応用コース）	19
メンターシップ（応用コース）	20

家庭医療パート

講義名	Inner Consultation
講義	草場 鉄周
形式	1回目：講義・ロールプレイ・グループディスカッション・実技 2回目：実践と省察のグループディスカッション
到達目標	1. 外来診療における構成脳と応答脳の働きを理解し診療中に意識できる 2. Inner Consultation（内なる診療）を実践するための5つのチェックポイントを理解し実践できる 3. 「自己管理」を重視した医療面接を提供するための短期的・長期的ストレス対処法を理解し、その一つとしての「いま、ここ」への回帰も含めて自分にあった対処法を継続的に実践できる
講義の概要	1回目はワークショップ形式で以下の流れで学習する。 ・ロールプレイを通じて診療中の医師の思考を省察し、構成脳と応答脳の特徴を理解し、自己の過去の診療体験への省察によりそれぞれを活かすための方法を理解する。 ・Inner Consultation（内なる診療）を実践するための5つのチェックポイントを理解し、構成脳と応答脳の調整を行うことの重要性を理解する ・調整に必要な心理的な安定に欠かせない「自己管理」のためのストレス対処法の3つのパターンを理解する ・診療中の対処法の一つとして、「いま、ここ」への回帰の方法をワークとして実践する 2回目は「構成脳と応答脳」の葛藤による診療の影響に対応するためのストレス対処法を実践したレポートをグループで共有し、Inner Consultation（内なる診療）の提供と「自己管理」を実践するためのノウハウをディスカッションする
課題図書/参考図書	課題図書：なし 参考図書： Inner Consultation 内なる診療（翻訳）. ロジャー・ネイバー. 2014. カイ書林.

講義名	家庭医療における多疾患合併と複雑系
講義	松井 善典
形式	講義
到達目標	<p>1、多疾患合併のフレームワークや疫学について理解し、事例を元に実診療に用いられるケアのポイントについて理解を深めることができる。</p> <p>2、多疾患合併を元に家庭医療学における複雑性の科学について理解し、そのいくつかの概念と実診療での応用を討論できる。</p>
講義の概要	<p>1、複雑性についてフレームワーク、疫学、実診療でのケアのポイントをいくつかのガイドラインや論文データを用いて紹介する。</p> <p>2、事例を二つほど用いて複雑性の捉え方、ケアのポイントの対話を行う。</p> <p>3、複雑性の科学に持ちられるいくつかの概念を題材に実診療での理解と応用についてグループ討論を行う。</p>
課題図書/参考図書	<p>Stewart W. Mercer. ABC of Multimorbidity (ABC Series) . Wiley. 2014</p> <p>Caroline Farmer. Clinical assessment and management of multimorbidity: summary of NICE guidance <i>BMJ</i> 2016; 354</p>

講義名	家庭医としての自己分析
講義	草場 鉄周
形式	1回目 講義、グループディスカッション 2回目 課題に基づく報告とグループディスカッション
到達目標	1. 家庭医としてのキャリアを積む研鑽の方向性として4つの視点で自己分析することが自己実現につながることを実感する 2. この4つの視点の概要を理解し、自分自身がそれぞれについてどのような志向性を持つかを認識して、今後のキャリア選択に活用することができる
講義の概要	<p>まず自分自身の医師としてのキャリアを振り返り、どのような出来事や出会いが大きな影響を与えたかを考え、グループで共有しディスカッションすることで、キャリアの転換点で自分の進む方向性を理解することの重要性を学ぶ。</p> <p>その後、こうしたキャリア構築で有用となる4つの視点、すなわち「家庭医療実践に対するスタンス」「診療する地域・組織の決定」「家庭医療指導医としての機能」「家庭医としての関心・得意領域」についてそれぞれ情報提供する。</p> <p>この情報を踏まえて、課題を通して4つの視点で自己の志向性を丁寧に分析しレポートをまとめ、グループに共有。互いの報告に基づいてディスカッションを行い、類似点や相違点、背景の違いからその多様性を認識し、自己分析がキャリアに有用であることを実感する。</p>
課題図書/参考図書	<p>課題図書：</p> <p>課題作成において下記の論文を参考にする</p> <p>Harris, DL, et al. Academic Competencies for Medical Faculty. Fam Med 2007;39(5):343-50.</p> <p>参考図書：なし</p>

講義名	家庭医療学の歴史・社会的背景
講義	草場 鉄周
形式	講義、グループディスカッション
到達目標	<p>1. 家庭医療学が西洋医学の歴史においてどのような経緯で20世紀に誕生したかを、パラダイムシフト、科学としての医学の進歩、プライマリ・ケアの没落と再興という観点から理解する</p> <p>2. 日本における家庭医療領域発展の歴史を理解し、今後の日本での家庭医療普及における課題を理解する</p>
講義の概要	<p>講義は以下の内容である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ギリシャ・ローマ時代から続く2つの医療スタイル ・科学としての医学のシンポ ・パラダイムシフト ・プライマリ・ケアの没落と再興 ・世界的な家庭医療の発展 ・日本における家庭医療領域発展の歴史 <p>これを踏まえて、グループディスカッションで今後の日本の家庭医療普及における課題を議論し洞察を深める</p>
課題図書/参考図書	<p>課題図書：なし</p> <p>参考図書：</p> <p>McWhinney IR, Freeman T (葛西龍樹訳) : マクウィニー家庭医療学. パーソン書房. 2013.</p>

経営パート

講義名	問題解決思考
講義	高橋 宏昌
形式	ケーススタディ形式
到達目標	問題解決のためのプロセスおよび考える枠組み（フレームワーク）を理解する
講義の概要	<p>問題解決思考は、特殊なスキルではなくビジネスに必要な仕事の進め方そのものです。ですので今日では医師のみならず全てのビジネスパーソンに必要なスキルであると言えます。</p> <p>本講義では、実際の診療所運営にて起こりがちな問題をケースとして取り上げ、現状分析からフレームワークに沿った問題分析を経て、解決に向けた道筋を受講者と一緒に考えてゆきます。</p> <p>その際、人間の思考の癖や陥りやすいPitfallについても触れてゆきます。</p>
課題図書/参考図書	<p>課題図書はありません。参考図書として以下書籍を紹介します。</p> <p>◇グロービスMBAクリティカル・シンキング グロービス経営大学院 著 ダイヤモンド社</p> <p>◇問題解決 高田貴久 岩澤智之 著 英治出版</p>

講義名	システム理論
講義	草場 鉄周
形式	ワークショップ
到達目標	<p>1. システム理論について複雑な状況を理解する方法論としての有用性を実感する</p> <p>2. システム理論による事象の認識方法としての4つのレベル、フィードバックプロセス、代表的なシステム原型、レバレッジを理解する</p>
講義の概要	<p>ワークショップでは、複雑な状況を理解するために4つのレベルで認識する重要性を事例を通じて実感する機会を提供する。その後、システムの特徴、フィードバックプロセス、代表的なシステム原型に関する解説を行う。その上で、日本の実際の医療課題をグループでシステム理論の観点から分析・検討するワークを行い、理解を更に深めていく。続けて、課題を解決するために欠かせないレバレッジの原則を学び、更に実際の課題を解決する方法を検討するワークを行う。</p>
課題図書/参考図書	<p>課題図書：なし</p> <p>参考図書：</p> <p>システム・シンキングー問題解決と意思決定を図解で行う論理的思考技術（翻訳）．バージニア・アンダーソン他．2001．日本能率協会マネジメントセンター．</p>

講義名	経営戦略マーケティング論（応用コース）
講義	高橋 宏昌
形式	講義形式
到達目標	<p>1. 経営戦略およびマーケティングのフレームワークについて理解します</p> <p>2. 経営戦略およびマーケティング戦略の基本的な立案プロセスについて理解します</p>
講義の概要	<p>前後半2回の講義となります。</p> <p>前半では、講義を中心に、経営戦略について、代表的な分析のフレームワークと、経営戦略の立案プロセスについて学びます。</p> <p>後半では、講義とショートケースでのワークショップを通じ、マーケティングについて、代表的な分析のフレームワークと、マーケティング戦略立案のプロセスについて学びます。</p> <p>経営戦略とマーケティングは、分析のフレームワークは共通する部分が多いのですが、その内容や目的は似て非なるものです。</p> <p>どの分野に新事業を展開するのか、どの部門に集中的に資源を配分するのか、売れる仕組み・患者が集まる仕組み・患者に選ばれる仕組みを構築するにはどうすべきか？いずれも戦略論やマーケティングで学ぶ領域であり、病院経営者にとって必須のスキルと言われています。</p> <p>フェローのプロジェクトワークでも活用機会が多い分野です。</p>
課題図書/参考図書	<p>課題図書はありません。参考図書は以下の通りです。</p> <p>◇グロービスMBA経営戦略</p> <p>◇グロービスMBAマーケティング</p> <p>いずれも、グロービス経営大学院 著 ダイヤモンド社</p>

講義名	プロジェクトワーク報告
講義	今江 章宏
形式	講義(F1)、進捗報告とディスカッション(F2)
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下について概要を述べるができる。 ①プロジェクト・マネジメントの3つの制約要素 ②プロジェクト・マネジメントの5つのプロセス ③プロジェクト・マネジメントの10の知識エリア <p>・ 各サイトにおいて、プロジェクトマネジャーとして1つのプロジェクトを担当し「1人ではなくチームで」成果を上げることができる。</p>
講義の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3つの制約要素（時間・資源・スコープ/品質） ・ 5つのプロセス（立ち上げ・計画・実行・監視/コントロール・終結） ・ 10の知識エリア（統合・スコープ・スケジュール・コスト・品質・資源・コミュニケーション・リスク・調達・ステークホルダーの各マネジメント） ・ Tuckman model -チームの発展段階- <p>プロジェクトの実践と振り返りを通じて、プレイング・マネジャーとしての自覚と成長を促します。</p>
課題図書/参考図書	<p>中嶋秀隆/中憲治 プロジェクトマネジメント理論編/実践編 第3版 総合法令出版 2018年</p> <p>伊藤大輔 プロジェクトマネジメント実践講座 日本実業出版社 2017年</p> <p>伊藤大輔 プロジェクトリーダー実践教本 日本実業出版社 2019年</p> <p>広兼修 マンガでわかるプロジェクトマネジメント オーム社 2011年</p>

講義名	人材マネジメント（応用コース）
講義	高橋 宏昌
形式	課題の輪読形式
到達目標	リーダーシップ行動モデル4領域を学んだうえで自らのリーダーシップ行動スタイルを見極め、成果をあげるためのリーダーシップ行動モデルを理解する。
講義の概要	<p>事前に配布した課題を熟読し、分析、考察のうえ受講者にて輪読を行います。</p> <p>自らのリーダーシップ行動モデルがどのタイプにフィットするかを見極めたうえで、成果を出すためには様々な異なるタイプとの補完関係が必要であることを学びます。</p> <p>人は誰しも完璧ではありません。それぞれが得意分野を活かし、足りない部分は、人脈という外部の脳を活用することで、新たなモノが生まれます。</p> <p>イノベーションとは「新結合」であり、つまり相互補完によって生まれます。リーダーシップも一緒です。</p>
課題図書/参考図書	<p>課題図書はありませんが、事前に課題を配布しますので、課題をこなしてから講義に出席をお願いします。</p> <p>参考図書として以下の書籍を紹介します。</p> <p>◇グロービスMBA組織と人材マネジメント</p> <p>グロービス経営大学院 著 ダイヤモンド社</p>

講義名	組織論（応用コース）
講義	高橋 宏昌
形式	ケーススタディ形式
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 組織構造について理解する 2. 人事制度について理解する 3. 組織文化について理解する 4. 組織変革について実際のケース分析を通じ考察する
講義の概要	<p>前後半2回に分けて講義を行います。</p> <p>前半では主に組織構造と戦略を効率的に実現するための仕組みについて、一般的な人事制度について、組織行動に影響を及ぼす組織文化について、ショートケースを交えながら講義形式で学びます。</p> <p>後半はケーススタディとなります。実際に講師が経験した倒産病院の再生プロセスを題材に、フレームワークにあてはめて分析考察しつつリーダーの行動に焦点を当てた組織変革のフレームワークを学びます。</p>
課題図書/参考図書	<p>課題図書はありません。</p> <p>事前にケースと課題を配布しますので、自分なりに考察してから講義に望んでください。</p> <p>参考図書は以下の通りです。</p> <p>◇グロービスMBA組織と人材マネジメント グロービス経営大学院 著 ダイヤモンド社</p>

講義名	ケーススタディ（応用コース）
講義	高橋 宏昌
形式	ケーススタディ形式
到達目標	診療所運営にて日常生じる様々な問題に対し、問題解決のフレームワークを用いるなど分析的アプローチにて解決策を導き出すスキルを学ぶ
講義の概要	<p>診療所運営にて頻発しがちな4つの問題をケースとして取り上げ、問題解決のフレームワークに沿って分析、考察し受講者同士で解決策を導き出してゆきます。</p> <p>ケース1 理念や戦略に反した行動で、結果的に成果を上げた職員をどう評価すべきか</p> <p>ケース2 仕事は出来るが上司をないがしろにする古参職員とどう向き合うか</p> <p>ケース3 辞められたら困る</p> <p>ケース4 居酒屋人事</p> <p>いずれも講師が実際に経験した問題をケースとしています。</p> <p>衆知を集めて最適なソリューションを導き出してゆきましょう。</p>
課題図書/参考図書	<p>課題図書はありません。</p> <p>参考図書としては、問題解決思考と同様となります。</p>

講義名	マネジャーことはじめ 事例検討
講義	加藤 光樹
形式	事例報告とディスカッション
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. プレイヤーがマネジャーに移行する際の葛藤について言語化することができ、どのように振る舞うことが期待されるか説明できる 2. マネジャーとしての自分の強みと弱みについて説明できる
講義の概要	<p>これらを踏まえ、実践報告では個別の経験にマネジメントのフレームを用いた意味付け、振り返りを行い、社会構成主義的に学習していく。ここではリーダーシップ、マネジメント、交渉術などのフレームを用いながら学ぶ。</p>
課題図書/参考図書	適宜紹介

講義名	会計学（応用コース）
講義	高橋 宏昌
形式	講義形式
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会計と法人経営について理解する 2. 財務諸表の読み方を理解する 3. 仕分けについて理解する
講義の概要	<p>一般的に利益があがれば経営は問題ないと考えがちですが、実際の経営には資金繰りも重要です。なぜならば、現実の法人経営では会計上あがった利益と実際に入ってくるお金の額とは大きく異なるケースが多くありますので、この両者の動きや差異を理解しなければ、経営上非常に大きなリスクとなるからです。</p> <p>講義では、診療所の経営状態を把握するうえで最低限抑えておくべき会計用語や財務諸表の仕組みや読み方などについて、事例を交えて学んでゆきます。</p>
課題図書/参考図書	<p>課題図書はありません。</p> <p>参考図書ではありませんが、日商簿記3級の資格を取得することで会計の理解が早まると思います。初学者の独学で120時間程度で合格が可能と言われています。</p> <p>会計実務と企業経営について学ぶのであれば以下がお勧めです。多少難解ですがケースに沿って実際の経営分析などにも触れています。</p> <p>◇グロービスMBAアカウンティング グロービス経営大学院 著 ダイヤモンド社</p>

教育パート

講義名	医学教育とエビデンス -Best Evidence Medical Education- (応用コース)
講義	宮地 純一郎
形式	講義
到達目標	<ol style="list-style-type: none">1. 医学教育学におけるエビデンスの前提が医学におけるそれと大きく異なることを理解する2. 医学教育領域において、現場で生じた問いからエビデンスを検索し、自らの教育実践に還元する方法をEBMのステップと対比しながら具体的に考える(講義中に実施)3. 医学教育文献を評価するための軸が複数あることを理解し、実際の評価に役立てることができる (事後課題で実施)4. 自らの日常教育における関心領域から一つ選んで、エビデンスを検索を実践する (事後課題で実施)
講義の概要	<p>事前課題：特に無し</p> <p>当日内容：フェローシップを修了した後に医学教育について新しい方法や考え方を得るためにはある程度文献についてあたり、それを理解し、必要に応じて批判的に吟味する必要が一定あります。本講義ではそのために必要な医学教育におけるエビデンスの考え方および医学(特に臨床疫学)のエビデンスの考え方との大きな違いについて、EBMの5つのステップと対比しながら理解を深めてもらうための講義を行います。</p> <p>事後課題：この講義としては設定はしませんが、後日の別枠の以下の講義とつながった内容となります。</p> <p>「教育事例検討」：この事例検討を踏まえて、教育に関連した問いを一つ設定してもらいます。</p> <p>「医学教育とエビデンス ハンズオンセッション」：設定した問いについて、宮地と議論をしながらエビデンスの検索を行うプロセス</p>

	<p>を経験してもらいます。更には読む文献あるいは教科書の章を一つ決めます。当日使用する資料：https://docs.google.com/document/d/1_U2J00AwBYjiL40k035vfLv7wJCQTeAwcZfgFuDVbks/edit</p> <p>「医学教育とエビデンス 発表」：上記で決めた文献あるいは教科書の章1つについて、自分なりに要約と批判的吟味を行い、発表し、議論を行います。その際にフォーマットとして以下を参考にして下さい。(簡単な抄読会のようなイメージです)https://docs.google.com/document/d/1mqxxbHp05pG1zJ1BQ4Shjmvthjegcd-enBMrhg4006Y/edit</p>
<p>課題図書/参考図書</p>	<p>課題図書：なし</p> <p>参考資料：(当日配布します)</p> <p>「2020医学教育 主要 海外ジャーナルv4.pdf」(当日配布します)：講師の研究者としての個人的経験からまとめた医学教育の自己学習のための資料です。フェローシップ内だけの共有とします。</p> <p>「HCFMフェローシップ_教育研究評価シートv3」：臨床現場の疑問から文献検索までの道筋をガイドするためのシートです。</p> <p>参考文献：</p> <p>Cook, D. A. (2012). Randomized controlled trials and meta-analysis in medical education: What role do they play? <i>Medical Teacher</i>, 34(6), 468-473.</p> <p>M Harden Janet Grant Graham Buckley I R Hart, R. (1999). BEME Guide No. 1: Best Evidence Medical Education. <i>Medical Teacher</i>, 21(6), 553-562.</p> <p>Ringsted, C., Hodges, B., & Scherpbier, A. (2011). “The research compass” : An introduction to research in medical education: AMEE Guide No. 56. <i>Medical Teacher</i>, 33(9), 695-709.</p>

講義名	教育事例検討（基礎と応用で内容に違いあり）
講義	宮地 純一郎
形式	グループディスカッション形式
到達目標	<p>1. 事例の提示：自分が行った教育事例について一定の医学教育用語を意識しながら記述し、他者に共有・相談できる</p> <p>2. 事例の司会：他人が行った教育事例の検討の場を司会、ファシリテートする経験を積む</p> <p>3. 事例の検討：他人が行った教育事例について、分析・省察・今後に向けた改善点や解決策につながるように、質問・意見できる</p> <p>4. 事例からの文献検索(応用コースのみ)：事例検討を踏まえて、問いを設定し、文献を検索し、調べて生涯学習に活かすことができる</p>
講義の概要	<p>事前課題：自らが関わった教育実践について以下のガイドを参考に発表を準備して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォーマット：特に設けないが、以下は参考にしてもよい。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 医学教育専門家認定用ポートフォリオ作成ガイドのT&L, A, CDのいずれかの形式 2. University of West Ontarioの5+1モデル 3. より構造化されていない内容(1. 自分が実践した教育内容、2. うまくいっているところ、3. うまくいっていないところ、4. 当日みんなと議論したい点) ・発表時間：10分程度、発表形式：ワードあるいはパワーポイント <p>当日内容：1人持ち時間45分で発表と議論を行います。具体的には</p> <ul style="list-style-type: none"> 10分：事例提示者が発表 25分：司会者の司会の元で議論 10分：議論のまとめ+発表者は自分が探求したい問いを決める(応用コース選択者のみ) <p>事後課題：</p> <p>1回目の教育事例検討(年度の前半)については事後課題はありません。(BEMEで文献の考え方を知り、「医学教育とエビデンス ハンズオンセッション」で実際に文献検索を行い、「医学教育とエビデンス 発表」で検索した文献の抄読会を行います。詳細は「医学教育</p>

	<p>とエビデンス -Best Evidence Medical Education-」のシラバスを参照)</p> <p>2回目の教育事例検討(年度の後半)については、事例検討中に検索する問いと文献を決めて頂きます。「事例検討に基づいた発表とディスカッション」というコマがありますのでそこまでに決めた文献を読み、まとめてきて下さい。フォーマットは1回目と同様(https://docs.google.com/document/d/1mqxxbHp05pG1zJ1BQ4Shjmvthjegcd-enBMrhg4006Y/edit)です。</p>
<p>課題図書/参考図書</p>	<p>特になし：ただし、当日の事例検討の内容を踏まえていくつか講師から提示・紹介します。</p>

講義名	生涯教育（応用コース）
講義	村井 紀太郎
形式	レクチャーとディスカッション
到達目標	優れた生涯学習の特徴を説明できる 生涯教育を実施する際のポイントを説明できる
講義の概要	優れた生涯学習の特徴として経験学習とアンラーニングについて解説し、各々の経験を振り返り、共有していく。 生涯学習を実施する際のポイントでは聴衆、トピック、枠組み、アウトカムについて解説する。
課題図書/参考図書	参考図書：医療プロフェッショナルの経験学習、成長する管理職

講義名	メンターシップ（応用コース）
講義	中村 琢弥
形式	<p>(Web) レクチャー形式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レクチャー内に双方向性の体験共有やディスカッション時間あり
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・(知識)メンターシップとは何か、それにまつわる用語を整理、理解する。 ・(知識)メンターシップにおいて大切な要素を整理し理解する。 ・(態度)メンタリング経験などの共有により、体験を考察振り返り、重要性を捉え直す。
講義の概要	<p>本セッションはメンタリング、メンターシップについての知識を学び、整理する時間となる。特定の課題図書は課さないが、事前事後に以下に紹介する参考図書を確認され、さらに知見を深めることを推奨する。</p> <p>特に講義内で扱われるテーマは以下を予定とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンター、メンタリングなど用語の定義、起源、背景 ・メンタリング行動の具体的手法（サブテーマとしてコーチングの御紹介） <p>なお、レクチャー内にて扱うディスカッション課題は以下を予定する。ぜひ事前に検討いただきながら参加を推奨とする</p> <p>（適宜進行状況に応じて各設問のディスカッション時間を縮小/省略することがあり得る）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Q1-1 医師としての職務の中で、同僚、研修医、コメディカルなどのスタッフに対して、「ある種の悩みやキャリアなどの相談に乗ったor面談などの経験」はありますか。

	<ul style="list-style-type: none"> ● Q1-2 相手と対話する中で「意識したポイント、難しかったポイント」は何ですか？（※対話の中身や相手などの個人情報を詳細にオープンにする必要はありません） ● Q2 皆さんの医療人としての経験を振り返って、「先輩から教えてもらった」と思える事柄は何ですか？ ● Q3 皆さんのこれまでの支援手法の中で、これは研修医（スタッフ）に有効だったと感じたものはありますか？またそれはどのような経験でしたか？（今回講義内で紹介予定の支援手法：聞く、相談に乗る、意見を述べる、提案、指導、語る、励ます、誉める、感謝、委任、促す、導く、出番を作る、提供、そばにいる・・・etc）
<p>課題図書/参考図書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● メディカルサポートコーチング基礎編 奥田弘美 ● メンター研究会 編：メンタリングハンドブック～導入から実践～ 日本生産性本部生産性労働情報センター 増補版 2014年 ● 福島正伸：メンタリング・マネジメントー共感と信頼の人材育成術。ダイヤモンド社。2005年 ● 渡辺三枝子。平田史昭：メンタリング入門。 日本経済新聞社。2006年 ● ブライアントレーシー。ジムローン。 浜口直太。望月俊孝：メンターのチカラ [自己啓発編] ~日米の超一流実業家・メンターが教えてくれる人生の勝ち方~。ミラクルマインド出版。2012年